

# 平成28年度 釧路地方道徳教育研究会 夏季研修会

平成28年9月3日(土)、釧路市立釧路小学校において、夏季研修会が開催されました。釧路市内、管内から多数の先生方、また、助言者として、北海道教育大学釧路校の長谷博文准教授、釧路教育局の塩谷佳子指導主事、釧路市教育委員会の池理砂指導主事にご参加いただきました。

今年の夏季研修会は、小中学校の校種別に分かれて行われました。前半は、今年度の全道研「日高・浦河大会」で提言される鈴木教諭と藤枝教諭による提言発表。後半は、小グループによる道徳の授業づくりの演習が行われました。

## 【小学校部会】

### ①提言発表

テーマ「学校・家庭・地域社会で取り組む道徳教育の指導計画作り」

提言者 釧路市立釧路小学校：鈴木 久夫教諭

#### 1 全教師による道徳教育の推進に向けて

- ・ 学校長が示すグランドデザインから全学年共通の重点目標を設定し、学校全体で指導の重点化を図る。
- ・ 道徳教育におけるカリキュラム・マネジメントを確立するために、全教師が一丸となってPDCAサイクルを機能させていく。



#### 2 家庭や地域社会との連携を図った指導

- ・ 地域の教育や文化を共に創り育てるという意識の下に、家庭や地域社会と、よりよい協力体制をつくっていく必要がある。

### ②演習 授業づくり

『世界に羽ばたく「航平ノート」』（学研『みんなの道徳』）を資料として、45分間の授業をグループで構想しました。グループ協議後は、各グループの代表者による模擬授業がおこなわれ、授業が具体的にイメージできるものとなりました。協議後は、釧路市教育委員会の池理砂指導主事から「道徳教育の指導計画と評価」について、北海道教育大学釧路校の長谷博文准教授からは、各グループの模擬授業についての講評をいただきました。



## 【中学校部会】

### ①提言発表

テーマ「地域の教育力を活用した道德教育の実践事例」

—豊かな体験を通じた道德性の育成に向けて—

提言者 釧路市立音別中学校：藤枝 彰恵教諭

地域の教育力低下という社会的な背景を踏まえ、音別中学校で行われている2つの実践事例をもとに、「地域と学校との連携」及び「道德教育との関連」という視点から、「地域の教育力の活用」についてまとめた提言を発表されました。

実践事例として、音別中学校で以前から行われている、①障害者支援施設「おんべつ学園」とのふれあい交流学习、②「徳島県那賀町立鷺敷中学校」との交流という2つの体験交流学习を、道德的価値との関連から見直すことで、体験を通じた道德性の育成につなげていくというものでした。

提言後の質疑の中では、「2つの体験学習のカリキュラム上の位置づけ」、「道德教育の全体計画・年間指導計画・別様との関連」という、提言の内容をより深める質問が出されていました。

赴任1年目でありながら、学校で行われている教育活動と道德教育とを関連付けた本提言は、道德の教科化に向けて、効果的な実践となっていました。



### ②演習 授業づくり

後半の演習では、「夜のくだもの屋」（杉みき子作）という教材を使った授業づくりが行われました。

研究部長の岩淵先生が開会式で話されていた「研究会ならではの自由な発想での授業づくり」という言葉通り、3つのグループで考えられた授業は、同じ教材ながら、中心発問や展開、活動、ねらいとする価値項目まで異なるものもありました。道德の授業づくりの面白さや難しさが感じられる演習となりました。



なお、今回の演習で行われた指導案は、同じく研修部から提案された「ドロップボックス共有フォルダ」の中に収められているということです。参加できなかった会員の皆さんも是非、教材や指導案を参考にしながら授業づくりを行って頂きたいと思います。